

見樹院ニュース

0

TE

RA

浄土宗 見樹院

住職 大河内秀人

〒112-0002

東京都文京区小石川3-4-14

TEL 03 (3812) 3711

FAX 03 (3815) 7951

Eメール：hit@juko-in.or.jp

<http://www.kenjuuin.com>

第42号 仏暦2547 (2004・平成16)年9月17日発行

秋季彼岸会法要

見樹会総会のご案内

今年も秋のお彼岸にあわせ、見樹会総会を下記の通り開催いたします。

建設基金の経過や旅行のことなど、多くのみなさまのご意見やご参加をいただきたく存じます。何卒ご参集くださいますようお願い申し上げます。

9月23日 (水・秋分の日)

午前11時 彼岸会法要

引き続き

見樹会総会

事業報告／決算報告／事業計画／予算

建設基金経過報告／その他

正午過ぎ終了

対テロ戦争の正体

本当の対立軸は何か

二〇〇一年九月十一日に起きたニューヨークの“テロ”の後、アメリカのブッシュ大統領は世界の人々に対して「正義につくのか、テロリストにつくのか」と問いました。そして世界の人々を脅かすテロリストと戦うリーダーとして、国際テロ組織の元締めアルカイダと大量破壊兵器を隠匿するサダム・フセインを掃討するという名目で、アフガニスタンとイラクを攻撃し、多くの犠牲を出しました。その間もイスラエルのシャロン首

相は「テロ対策」を大義名分に、パレスチナへの攻撃や人権侵害はやりたいた放題。日本でも、北朝鮮への不安と憎悪が後押しして、戦争へ向かう様々な法改正が行われてきました。テロリストという、実はよく見えない敵を理由に人々の不安を掻き立て、アラブとかイスラムとか外国人といった、全くイコールではない人々の集団に対する憎悪と偏見を植え込み、彼らに攻撃や迫害を加えることで、新たな対立を作りだしています。

しかし、この構造を考えると、パレスチナ問題を通してイスラエルという国を見てきた私には全く違う対立軸が見えます。

イスラエルにも平和的な解決を真剣にめざす人々がたくさんいます。イスラエル領内に住むアラブ人とも協力して、共存のために努力が重ねられています。その一方、力で抹殺すべきと確信する勢力があります。宗教的な狂信者もいれば、政治的覇権や経済権益を力づくで奪おうとする者もいますが、少なくとも現代世界の常識的な人々にとっては特殊な立場の人々です。パレスチナの側にも同様の二極があります。

極右と極左というイデオロギーでもなければ、宗教や民族主義の対極でもありません。強い意志を持って平和的・民主的な社会を求め、人々と、何が何でも戦争で決めようという両極があります。多くの人々はその中間にいるわけですが、もちろん平和にこしたことはないけど、やられてしまったては元も子もないと迷いつつ、状況を見ている人々です。

その時、軍事・経済・情報いずれも圧倒的優位な立場にある支配する側の国では、話し合いや真つ

(裏面に続く)

当な裁判などせず、力で解決したい権力に「お前はどちらにつくのか？」と迫られるのです。

イスラエルでは平和主義者は「サヨク」と名指されます。パレスチナ人がなぜ抵抗するのかを考えないで、テロリストの側とみなされたくない人々は、「カ」の側に絡め取られていきます。日本も同じということは、イラクの人質事件でも痛感しました。

ごく一部が起こすテロを利用して憎悪と偏見を煽ることで、軍事政権は支持を得ます。それによって行われる弾圧が、される側の社会で好戦派を育てます。

この構図では、ニワトリかタマゴかということではなく、明らかに支配する側にイニシアティブがあります。しかしその議論以上に重要なのは、テロと正義の戦いではなく、イスラエルとパレスチナ、アメリカとイラクの対立でもなく、対立軸は戦争と平和の間にあるということことです。それは私たちみんなの社会の中にあるものです。敢えて言えば、シャロン政権とイスラム過激派、ブッシュ政権とアルカイダの利害は一致しています。彼らの共通の敵は「平和」です。

私たちの日本は、アメリカの同盟国として一蓮托生の状況で、今

更ノ一と言ってももしかたがないと諦めている人も多いようです。しかし、世界の大きな構図の中で見ると、このさしあたって強大な力の側で富を巻き上げているのは地球の人口の何十分の一に過ぎません。このまま行くと、その格差はますます大きくなり、抑圧され搾取され、絶望の縁に追い込まれた人々が命を懸けた抵抗に對峙せざるを得ないことになるでしょう。

「対テロ戦争」は、アメリカやイスラエルのみならず、中国やインドネシアをはじめ多くの政府が抵

見樹会ご報告とお知らせ

■書院のエアコン

六月のお施餓鬼のとき、本堂横の和室のクーラーが古くなって効かないので、新しい物に代えるという話になり、八月はじめに付け替え工事を行いました。

その費用は見樹会からということでしたが、名取亮様より先般他界された母上のご供養として、空調設備に使ってほしいということでご金壹百万円のご寄進を頂戴し、

この一部を充当いたしました。これまでの床置き型から壁付け

抗勢力を抑圧する便利な道具として使われています。それが真の解決にならず、先日ロシアで起きた事件のように、より大きな悲劇を呼ぶことは明らかです。

そのためには漠然とした不安の中で流されるのではなく、本当の現実を直視し、そのメカニズムを冷静に解明し、二十一世紀の人間にふさわしい生き方を選択していかなければなりません。私たちは自らを含めた世界の構造への視点をもち、様々なつながりから得られる事実に基づき、冷静に、戦争

になり、部屋も少し広くなった感じがします。

■プロジェクターを購入

これもお施餓鬼のときに、ご承認をいただきました。ビデオやコンピュータなどに繋げるプロジェクターとスクリーンを、見樹会として購入しました。お彼岸法要の折にお披露目いたします。

■アンコールワットツアー

懸案の旅行会ですが、お寺関係

のメカニズムを解明することで、暴力を排し人間として生きる道が開けるように、未来を変えていくことができるはずですよ。

私たちは、強大な力の下にぶら下がって戦争を拡大していくのではなく、アメリカやイスラエルやイラクやパレスチナの平和的な運動と連帯して、多くの人々を平和の側に呼び込んでいかななくてはなりません。それらをつなぎ合わせるNGOの活動をしてきた者として、これは決して不可能ではないことを確信しています。

の旅行を多く手がけているピース観光さんに、提案と見積もりをいただきました。

時期は来年一月末で復路夜行便の到着で足掛け六日間、今はやりのベトナムを経由して行く予定で、金額は約二十万円です。

何年前か前、伊東照司先生に詳しくお話をさせていただきましたが、仏教遺跡として世界でも有数の世界遺産です。カンボジアという国自体も大きく変わっており、またとない機会ですので、ぜひご参加をご検討ください。具体的な日取りは、早めのお申込者にご相談したいと思います。